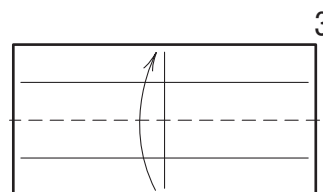
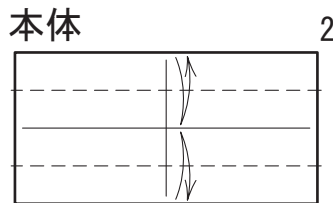
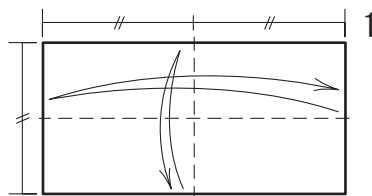


きずなWINDS

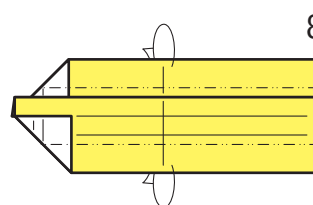
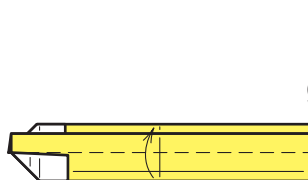
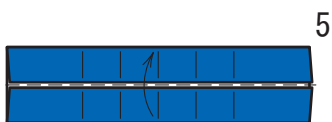
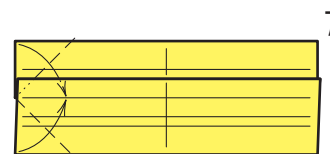
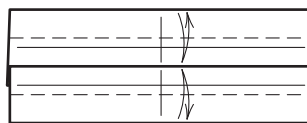
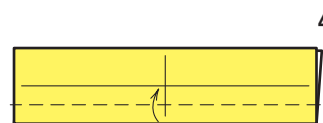
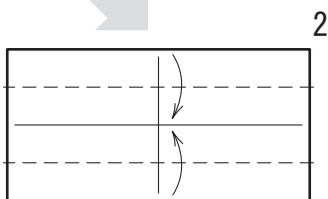
創作・折り図
青木 良 (日本折紙協会)

※1: 2の長方形を2枚 (正方形を半分に切って、それぞれ) つかいます

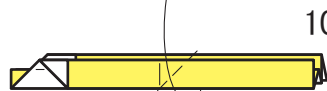
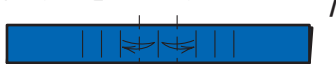
協力: 日本折紙協会 <http://www.origami-noa.com/>



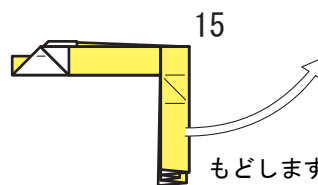
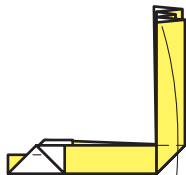
パネル



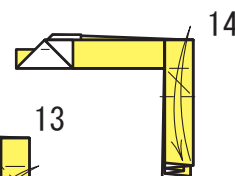
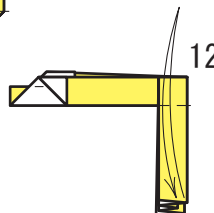
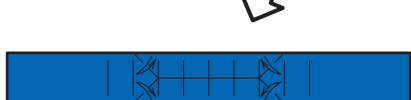
○と○をあわせて
折りすじをつけます



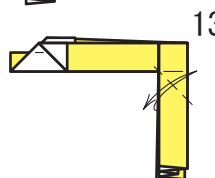
ぜんぶいっしょに
折ります



もどします



パネル
できあがり



つまむように
折りたたみます

超高速インターネット衛星

きずな(WINDS)

衛星を用いた新たなインターネット社会

「いつでも、どこでも、誰でも」必要な情報が得られる社会に

突然の災害時に

(いつでも)対応できる丈夫な通信

現在、通信が不便な地域に

(どこでも)通じる快適な通信

の実現が必要となります。



いざというとき、頼りになる衛星!

起こってしまった災害の被害を最小限に抑えるためには、被災地の状況を正確に把握することがなによりも重要です。突然の災害時でも、「きずな」の小型のアンテナを設置すれば、超高速・大容量の通信ができ、高解像度の画像データのやりとりなどを行なえば状況把握ができます。また、災害によって地上の通信網が寸断された場合も、「きずな」を経由すればこれまでと同じ環境で通信を行なうことができます。

不便→便利に変える衛星!

インターネットの普及に伴う情報化社会の発展とともに、「情報を持つ人」と「情報を持たない人」との格差が広がっています。インターネットは、人口の多い都市部から普及していく傾向があり、山間部や離島では、地上だけでネットワークを整備していくことがなかなか難しい状況です。こうした通信が不便な地域でも、アンテナを設置すれば超高速・大容量の通信ができる「きずな」によって、便利な通信環境が得られるとともに、医療や教育面でもプラスの効果があります。

